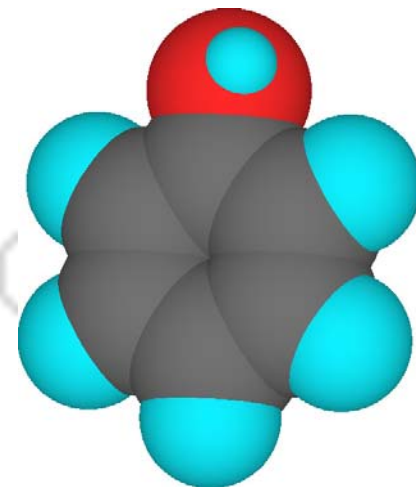


経営状況説明会

2006.11.14

旭有機材工業株式会社



2006年度上期実績のポイント



(1) 4期連続の連結増収、3期連続の連結経常増益

✦ 上期では連結最高益

(2) 連結子会社も業績を急伸

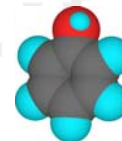
✦ アサヒアメリカは3期増収増益。対前年31%の増収。

(3) 樹脂事業は原料高で苦戦

✦ 原料高による価格修正で数量伸び悩む

(4) 中間配当を増配（年間10円/株を予定）

✦ 中間配当5円/株。前年上期は普通配3.75円、記念配2円



2006年度 上期損益実績

<連結>

(百万円)

	2005年度 上期実績	対前年	2006年度 上期実績	対前年		2006年度上期予想	
						5/18年初	10/30修正
売上高	17,735	1.2%	19,361	1,626	9.2%	19,000	19,300
管材システム	12,040	-3.3%	13,751	1,711	14.2%	13,500	—
樹脂	5,695	12.4%	5,610	-85	-1.5%	5,500	—
営業利益	745	-15.0%	1,583	838	112.5%	1,100	—
管材システム	554	-25.5%	1,411	857	154.7%	900	—
樹脂	191	43.6%	172	-19	-9.9%	200	—
経常利益	1,032	0.6%	1,940	908	88.0%	1,300	1,900
当期利益	569	-7.5%	1,081	512	90.0%	800	1,000

物流革新(延岡)



加工モール

新倉庫計画地
(赤線枠内)

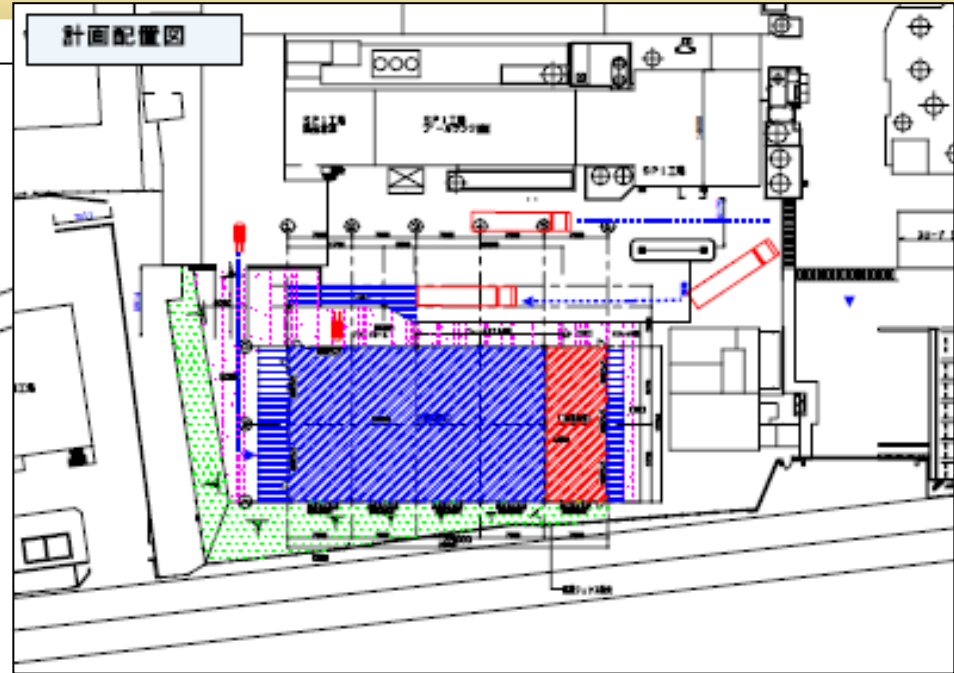
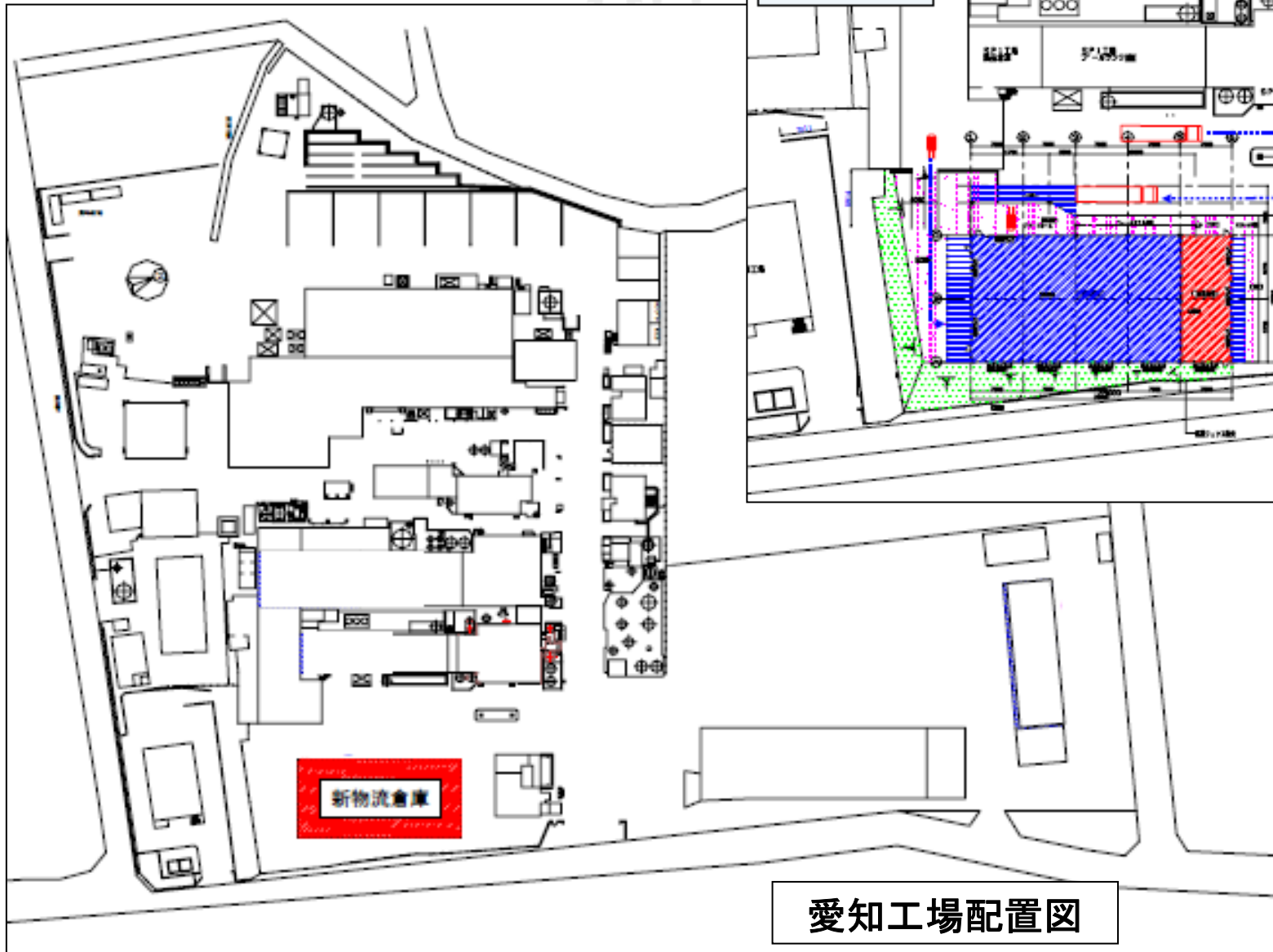
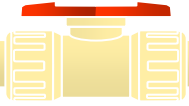


外観パース

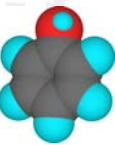


細島港

物流革新(愛知)



愛知工場配置図



海外展開の進捗状況



欧州での展開検討

南京KEMFLO社



赤字は駐在員事務所所在地

Frankfurt

上海販社



インド電解向け展示会(12/4)



バンコクPINE PACIFIC社



ジョージア水族館



百万円

バハマ アクアパーク



米州:アサヒアメリカでのバルブ、アクチュエーターの販売が好調。

中国:2002年に上海駐在員事務所を開設。2005年には上海に販売現地法人を設立。またフランジのOEM委託生産。鉄嶺で特殊ゴムパッキングの調達も始めた。2008年に樹脂工場稼働に向けて各種申請手続を進めている。

アジア:RCSの技術を供与したタイPINE PACIFIC社RCS工場が順調に稼働中。インドでは電解工業向けバルブ拡販を検討中。

欧州:東欧も視野に入れ、販売力強化の施策を検討する。

太陽光発電装置(延岡本社)

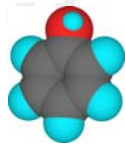


.....H₂C



半導体・液晶製造装置向けバルブ

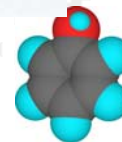
Dymatrix™ 製品の概要



Dymatrix 製品のご紹介

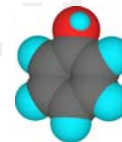
Dymatrix™

Specialty Valves and Control Products



目次

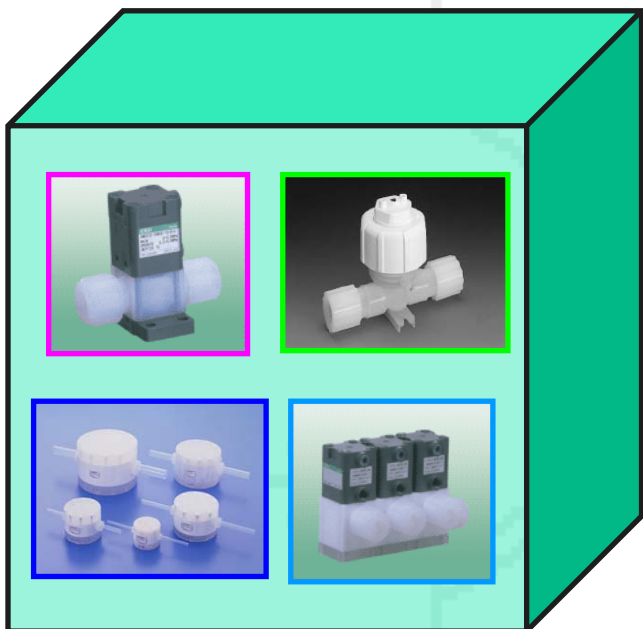
1. **Dymatrix™** 製品のマーケット
2. 製品群
3. 今後の展開



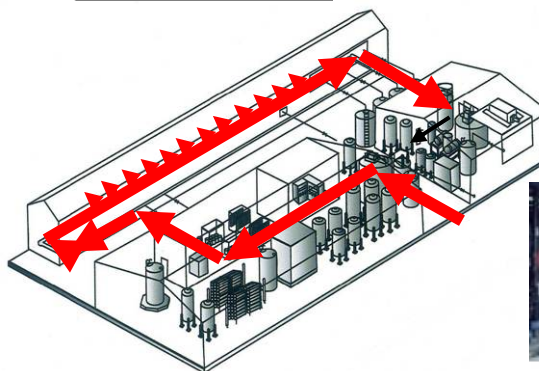
1. Dymatrix 製品のマーケット

以前より、アサヒAVバルブがターゲットとしていなかった半導体工場内の装置にも**数多くのプラスチックバルブ**が使用されています。

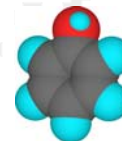
半導体製造工場



建屋内の製造装置



超純水製造ライン



1. Dymatrix 製品のマーケット

各種ウェットプロセスと呼ばれる装置では、さまざまな薬液や純水が使用されており、そこにプラスチックバルブが使われています。

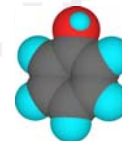
洗浄装置



CMP装置



リングラフィー装置



1. Dymatrix 製品のマーケット

旭有機材は、この分野を巨大なマーケットと捉え、製造装置向けバルブ **Dymatrix™** 製品の開発に着手、市場への参入を果たしました。

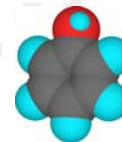
Dymatrix™

Specialty Valves and Control Products



- コンパクト
- 高耐久性
- 高耐食性
- 高機能性
- 独創性

従来のアサヒAVバルブとは異なる発想



2. Dymatrix 製品群

Valve for cot/dev

ユーザーおよび時代のニーズに合った製品開発を進めております。



2000

2002

2004

2006

開発に着手

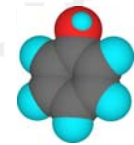
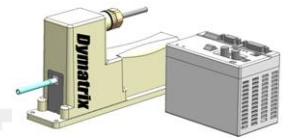
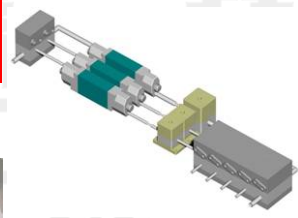
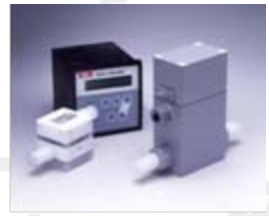
CMP装置用



洗浄装置用



流量制御ユニット

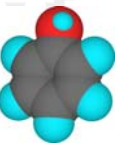
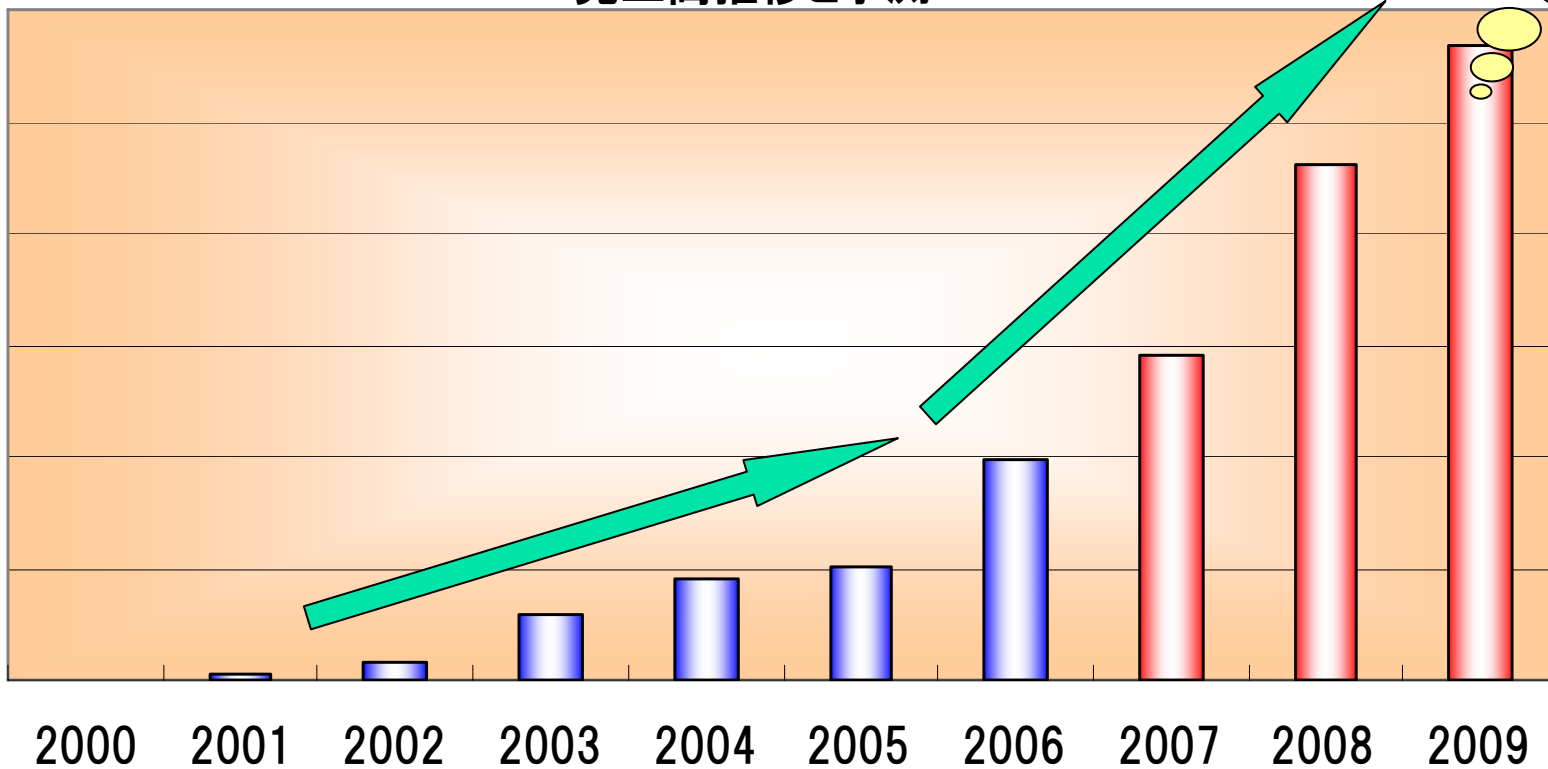


3. 今後の展開

Value for cot/dev

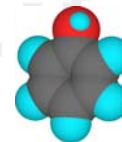
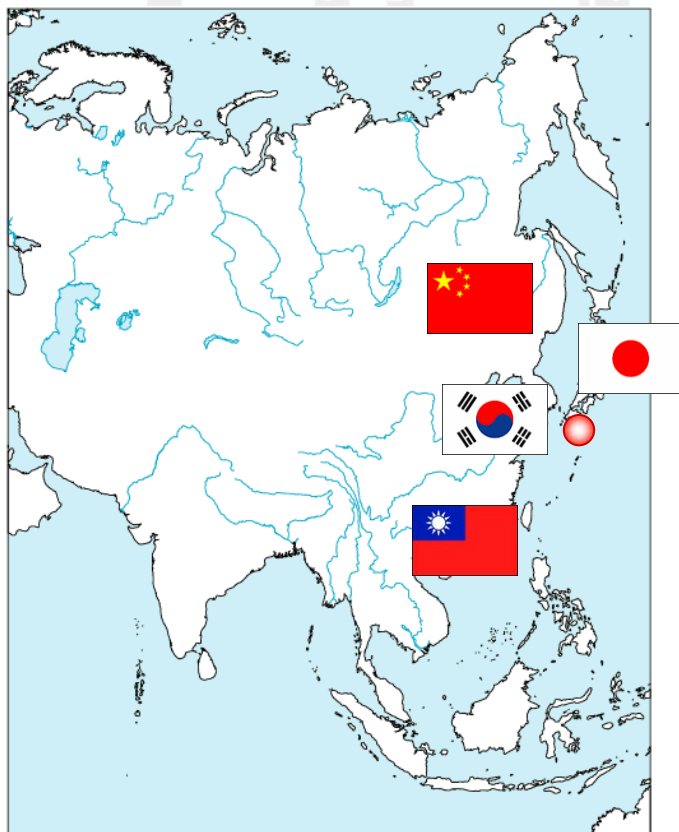
03年度の
10倍

売上高推移と予測



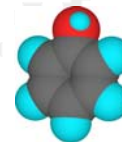
3. 今後の展開

Dymatrix™は、今後も更なるソリューション提供型技術を蓄積し、グローバルな市場展開を推進して参ります。





**2006年度
上期損益の内訳と
通期見通し**



連結子会社の業績

2005年度上期実績

(単位:百万円)

科 目	単独	連 結 子 会 社							子会社計	連結修正	合 計
	AOC	A/A	AYH	AYH・WJ	中部旭	北方	テクノ	アセンプル			
売上高	15,237	1,433	1,094	1,562	330	91	307	134	4,950	-2,452	17,735
営業利益	644	64	36	13	9	-1	-12	5	114	-12	745
経常利益	916	74	30	12	9	0	-14	5	115	1	1,032
当期利益	518	42	21	5	6	0	-16	3	61	-11	568

連単倍率 1.10

2006年度上期実績

科 目	単独	連 結 子 会 社							子会社計	連結修正	合 計
	AOC	A/A	AYH	AYH・WJ	中部旭	北方	テクノ	アセンプル			
売上高	16,057	1,879	1,296	2,007	504	97	317	154	6,254	-2,950	19,361
営業利益	1,364	144	67	46	15	0	-4	1	269	-50	1,583
経常利益	1,675	146	59	46	15	0	-5	1	262	3	1,940
当期利益	939	85	35	27	8	0	-5	1	151	-9	1,081

連単倍率 1.15

損益差異

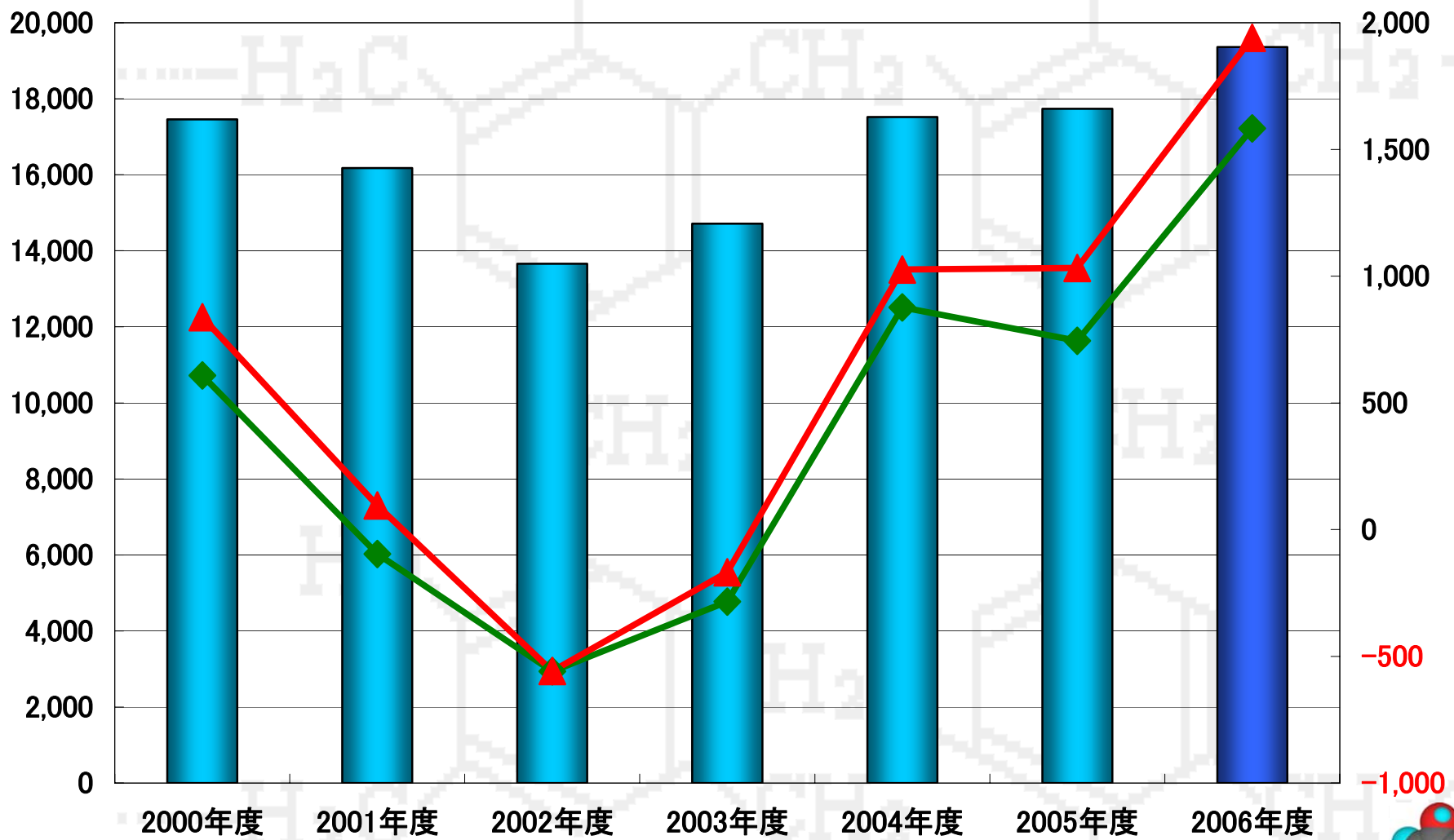
科 目	単独	連 結 子 会 社							子会社計	連結修正	合 計
	AOC	A/A	AYH	AYH・WJ	中部旭	北方	テクノ	アセンプル			
売上高	820	446	202	445	174	6	10	20	1,303	-498	1,626
営業利益	720	80	31	33	6	1	8	-4	155	-38	838
経常利益	759	72	29	34	6	0	9	-4	146	2	908
当期利益	421	43	14	22	2	0	11	-2	90	2	513

上期損益推移(連結)

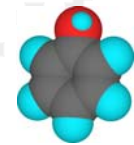


売上高(単位 百万円)

営業利益 経常利益
(単位 百万円)



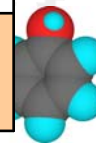
■ 売上高 ◆ 営業利益 ▲ 経常利益



2006年度 損益見通し

<連結>

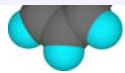
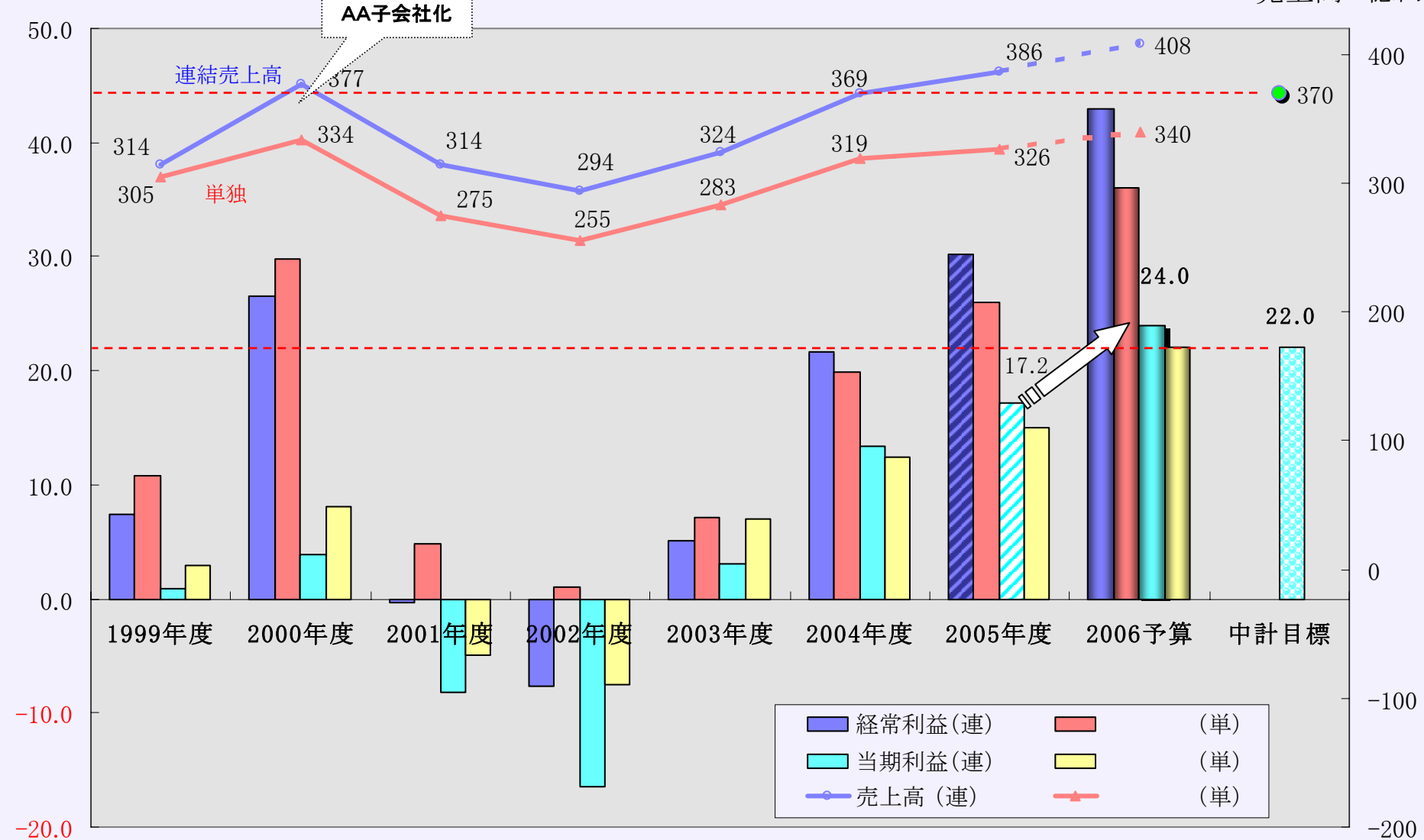
	2005年度 実績	対前年	2006年度 予想		2006年度 年初予想		
			対前年				
売上高	38,637	4.6%	40,800	2,163	5.6%	40,500	300
管材システム	27,043	1.8%	29,300	2,257	8.3%	28,500	800
樹脂	11,594	12.0%	11,500	-94	0.8%	12,000	-500
営業利益	2,567	35.7%	3,800	1,233	48.0%	3,300	500
管材システム	2,071	20.8%	3,300	1,229	59.3%	2,700	600
樹脂	496	181.8%	500	4	0.8%	600	-100
経常利益	3,023	39.4%	4,300	1,277	42.2%	3,600	700
当期利益	1,718	28.7%	2,400	682	39.7%	2,200	200



過去7年間の業績推移

利益：億円

売上高：億円



目指す事業像 (連結)

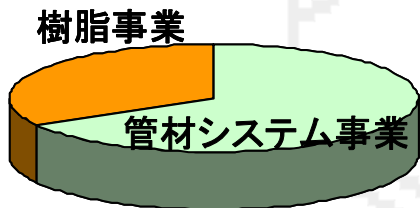


2003 - 2005 年度

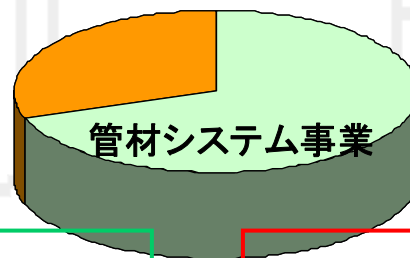
2006年度目標

2020年目標

売上高



樹脂事業



新規事業

樹脂事業

管材システム事業

1,000億円
≥ 50%

('03年度)
324 ⇒ 369 ⇒ 386 億円

408 > 370億円

海外比率

10 ⇒ 12 ⇒ 13 %

14.2 < 16 %

税後利益

3 ⇒ 13 ⇒ 17 億円

24 > 22億円

販管费率

27 ⇒ 25.9 ⇒ 25 %

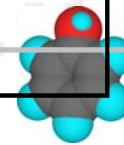
25.6 > 20 %

< 20%

ROA

0.5 ⇒ 2.4%

4.0 ≥ 4 %



基本方針と取り組み

成長性の回復

- 負の遺産整理の完了 ⇒ 攻めの経営への転換
- 成長源泉は東アジア ⇒ 国際化推進室設置
- 得意領域の深耕 ⇒ マーケティング部設置
- 強い製品づくり ⇒ 品質向上の徹底
- ⇒ 積極的新製品展開

収益性の向上

- 最適生産体制の構築 ⇒ 海外OEM生産
- ⇒ 外注業者の加工場集中化
- 生産プロセスの革新 ⇒ 積極的設備投資
- 地道なコスト削減 ⇒ トヨタ生産方式精神継承
- 製品構成の見直し ⇒ 高付加価値製品へのシフト

経営効率の向上 (人的生産性)

- 見える経営 ⇒ SAP等の統合システムの導入
- 販管費の削減 ⇒ 営業所統合・代理店強化
- ⇒ 物流の効率化
- 資本効率の向上 ⇒ 経営管理制度改定
- 研究開発体制の見直し ⇒ 旭化成との連携強化

經常利益・營業利益推移(1975~2006予)

